

九州大学基金支援助成に対するお礼

九州大学体育総部洋弓部 主将
主務

この度、私たち九州大学体育総部洋弓部は、九州大学基金支援助成事業の助成金を受け、箱崎射場の背面の畳を新調して頂きました。

この九州大学基金は卒業生、教職員、企業・団体等からの寄附金により創設、運営されたものです。洋弓部は、支援助成事業の1つである学生課外活動支援の対象に採択して頂き、先に述べましたようなご支援を賜りました。

ここに畳の新調をご報告いたしますとともに、九州大学基金関係者の皆様をはじめ、ご支援、ご寄附をいただいた方々に、心より御礼申し上げます。



写真: 箱崎射場での練習の様子

アーチェリーという競技では、矢を射る的の部分に畳を uses。すなわち、縦に重ねた畳を固定して設置し、その上から紙製の的を貼って競技を行うのです。また、箱崎射場のような常設の射場においては、的に相当する部分の周辺にも広く畳を設置し、矢がそれた場合に備えています。

このように、アーチェリーにとって畳とは、競技を行うにあたり不可欠の財というべきものです。箱崎射場背面の畳は、先頃まで長期に渡って使用し続けていたため老朽化が進み、安全面においても不安の存する状況にありましたが、この度九州大学基金のご支援により、新品の畳を設置し万全の状態での練習を行うことが可能となりました。よって、ご支援を頂いた皆様に改めて感謝の意を表したいと思えます。本当にありがとうございました。

私たち洋弓部は、新たに整備された畳により得られた快適な練習環境の下、今後行われる大会において好成績を残せるよう、練習に励んで参りたいと思えます。今後とも皆様のご厚情を賜りますよう、どうぞよろしく願いいたします。